

一般質問

川下
議員

○教育支援員の人材確保について

質 教育支援員とは、児童生徒に対して食事、排泄、教室移動の補助といった学校における日常生活の介助や安全確保など学習活動上のサポートを行う者であり、本市もその重要性を認識して、必要な人数分の予算計上を行っている。しかし、現状は始業式までに人数を揃えることができていない。その原因としては、募集開始時期が遅いことや同時期に募集される職種と比較して賃金や勤務時間など雇用条件が悪いことなどが挙げられます。保護者が安心してお子さんを預けられ、児童生徒が安心して教育を受けられるためには、教育支援員の人材確保としては、募集時期と雇用条件の改善を求めたいと思う。どう考えるかお聞きしたい。

学校教育課長 募集時期の改善策としては、教育支援員の登録制の実施を考えています。これにより年度途中での欠員補充にも対応ができるようになると考えます。また、募集の周知広報については、各家庭への回覧文書のほかに、市報や市のホームページ、NBCデータ放送の活用を検討しています。

市長 雇用条件については、財源として人材育成の観点からふるさと納税の寄附金を活用できないか検討を行っており、その職務にふさわしい賃金となるよう努めてまいります。

○伊万里松浦病院の移設について

質 移設については、市民の皆様が期待が大きい一方、当病院では内科と外科のどちらか一人の医師が夜勤勤務をしている現状です。このままでは市民の期待感と現実に乖離があるのではないかと懸念されます。今後、医師の確保を含めた詰めの話合いが重要と思われます。市民の声に応えられる医療機関であり得るのか確認したい。

市長 松浦市には核となる公的医療機関がなく、市民の皆様が地域医療に対して不安を持つておられることは承知しております。伊万里松浦病院にはこの不安解消に寄与して頂きたいと願っています。

病院開設には、松浦市が過剰病床地域であるため、県の特例措置の適用が絶対条件となっております。地元医師会の皆様方にもご理解を頂けるよう、松浦市地域医療再編実施計画の早期策定に向けて全力で取り組んでまいります。

その他情報インフラ整備についてと鷹島モンゴル村の休村について質問しました。

一般質問

尾野
議員

○市内小中学校トイレの実態と洋式化を含む改良の取り組みについて

質 現在、市内小中学校の児童生徒数は何人か。学校の便器の数は幾らあるか。そのうち洋式トイレの割合はどのくらいか。

教育総務課長 本年11月現在1千836名が在籍し、総便器数431基のうち洋式が152基あり、その割合は35・3パーセントとなっております。

質 車いすに対応した多目的トイレは幾らあるか。

教育総務課長 現在、小学校5校と中学校5校に計22か所を設置しています。

質 家庭では洋式トイレが主流となつていく中で、和式は使いづらいなどの声はないか。また、PTAや学校訪問者からの要望等はあるか。

教育総務課長 児童生徒からは、洋式の方が使いやすい、和式だと汚れてしまう、和式は怖いなどの声があります。また、教職員、PTAや来校者等からも洋式を増やしてほしいとの声がありますし、その一方で、和式がなくなってしまうと使い方を教えられなくなってしまうとの意見もあります。

質 特に思春期の児童生徒をはじめ和式便器への抵抗感があることや、学校は大規模災害時の避難場所として大きな役割を持つており、お年寄りのことを考慮すれば洋式への改善は必要不可欠と思う。まずは子どもたちが快適に学校生活を送ってもらうためにも、ぜひ洋式化が必要だと考える。今後の取り組みについて教育長、市長の考えを伺います。

教育長 ご指摘のようにトイレの洋式化は必要なことだと考えておりまして、洋式便器率の向上に計画的に取り組んでまいります。

市長 学校施設の改築や改修でトイレを設置する場合は、トイレ1か所につき和式を1基のみとし他は洋式への整備を進め、洋式化率を6割から7割程度まで引き上げていきたい。

○交通安全対策と災害対策について

質 西肥バスの上野入口バス停は、地区からの要請もあり何度も見ましたが、非常に危険な状態です。バス停が登坂車線内にあり、バス停車帯も歩道もない。行政として、バス利用者に安全で安心して利用できる対策を考えてもらいたいと思う。

市長 地区住民、交通事業者、警察署等の意見を頂きながら道路管理者の県へも話をつないで、安全が確保できる方策を見出し、実行して頂くような対応をとってまいります。